

市職員の早期退職勧奨と採用は

～制度存続するが、勧奨はしない～



宮成昭義

創生会

答
市長

質
今後も職員の早期退職者を募るのか。

早期退職制度は存続するが、早期退職勧奨は行わないとする方針を示しました。今後は削減目標を意識しながら人事行政を行つてきます。

産業、都市機能、住民サービスで31連携項目があるが、本市の状況や実態を踏まえ、優先順位を定め、臨むべきではないか。

質

答
地域創生課長

現段階では全ての専門部会や連携事業に積極的に参加しております。全ての協定項目で施策の展開を行つています。

「全ての協定項目で施策を展開」

大分都市広域圏構想、優先順位で臨むべきでは

職員採用が拡大されたが今後もこの考えは変わらないか。また、スポーツ枠の考えは。

質

全体的な組織・機構の見直しや後年度の退職予定者数、職員の年齢別構成比の平準化など総合的に勘案し、適正な職員総数に基づき、採用を行つていきます。また、スポーツ枠は考えていません。

答
市長



千歳町保健センター

答
財政課長

社会教育施設の用具、器具等は利用者や管理人の報告等により、不具合の把握と整備に努めています。

公共施設の用具、器具の点検・整備等の実施状況は。

めています。今後も引き続き、利用者の安全・安心の確保を図りながら、施設の効率的な維持管理に努めます。

質

公共施設内の用具等の点検、整備は

「効率的な維持管理に努める」



え とう たつ や
衛 藤 龍哉

市民クラブ



質

川野市長の市政運営、
行財政改革への取り組
む姿勢、決意、考えは。

答 市長

本市の厳しい財政状況、今後さらに財政の硬直化が進むことが予想されているとの認識の下に、選択と集中により、限られた財源の効率的・効果的な分配を行うため、事務事業の取捨選択はさらに厳しい視点で臨むという姿勢を表したものです。

新市長の厳しい取捨選択を行ふ決意は

事業費、費用対効果、必要性等を総合的に勘案し検討する

支障木伐採条例（仮称）を制定し対策強化を

～条例も含めてよりよい管理方法を検討～

質

市内ではまだ、かなりの支障木等があることを再認識した。地域住民の作業等に期待するが、高齢化の波が早く、対応できない地域が増えている。早急に検討が必要だが市の見解を伺う。

答 建設課長

除草は自治会による道路愛護作業に依存しています。近年は、高齢化に伴い作業による路線が増えており、市の委託業が困難な路線が増えている傾向にあります。

今後も地域の生活道路は地域で守ると



市道の除草作業

いう観点から自治会にできる限り道路愛護作業での対応をお願いし、対応が困難な路線は予算の確保に努めるとともに、条例も含め、よりよい管理方法を検討していきます。